

静岡大学生協
2025年度
卒業生アンケート報告

ページ 内容

- 1 調査概要
 - 2 大学時代の経験
 - 3 大学時代に経験できなかったこと
 - 4 大学時代のSDGsの関わり
 - 5 大学生活は充実していましたか？
 - 6 大学生活を一言で表すと!?
 - 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
 - 8 卒業前後の不安や困り事
 - 9 卒業生が見た大学生協
- メッセージ集

調査概要(速報値)

目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする
- 卒業される組合員の声を大切にし、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む

方法

- Googleフォームを活用したインターネット調査
- 卒業予定学年の大学生協学生組合員へのメール連絡。チラシ、HPでの呼びかけ

時期

- 2025年10月～2026年3月

回答

- 東海地区で2025年度卒業予定の大学生協組合員のうちメール受信可能な方 24,975人
- 回答者は東海地区でのべ3000人見込み／静岡大学の対象人数等は備考参照

備考

- 卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を実施予定

	第1回	第2回	第3回
時期	2025年 10月1日～3月31日	2026年 2月2日～3月31日	2026年 2月24日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙期のため簡単に大学生活の経験を振り返る内容	卒論・卒研終了後大学生活を振り返り自由記述中心の内容	就職準備、新生活準備に関わる内容 大学生協への評価
対象人数	2,405人	2,387人	2,383人
回答数	107	46	51
回答率	約4.4%	約1.9%	約2.1%

2025年度卒業の大学生活と社会情勢

年	学部生	院生(修士)	社会の出来事や大学生活の出来事
2020		学部1年生	4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンライン化 ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021		学部2年生	東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	1年生	学部3年生	ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰 生成系AI(チャットGPT)登場
2023	2年生	学部4年生	5月 コロナ5類移行 イスラエル・ハマス軍事衝突 野球＝大谷翔平選手、将棋＝藤井聡太竜王の活躍
2024	3年生	修士1年生	1月・9月 能登半島 地震・豪雨災害 パリオリンピック・パラリンピック 野球＝大谷翔平選手50-50達成／新紙幣発行
2025	4年生	修士2年生	大阪・関西万博／トランプ関税／高市内閣発足 イスラエル・ハマス間のガザ和平交渉合意 『令和の米騒動』政府備蓄米放出／物価高続く

2:大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 ②大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 ③大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 ④～⑥あなたが大学生生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】

※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ

勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

■ 大学時代に経験したこと・経験の時期

回答者数(人)	経験内容(%)	経験無	経験有合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	卒業までに経験する予定
107										
学内	クラブサークルの加入	20.6%	79.4%	76.6%	65.4%	58.9%	39.3%	7.5%	5.6%	0.9%
	学会や研究会での発表(オンライン)	88.8%	11.2%	0.0%	0.0%	1.9%	4.7%	2.8%	2.8%	3.7%
	学会や研究会での発表(対面)	50.5%	49.5%	0.0%	3.7%	13.1%	26.2%	9.3%	8.4%	7.5%
	怪我や病気で大学に行けない期間(数日～10日程度)	66.4%	33.6%	14.0%	18.7%	13.1%	4.7%	0.9%	0.0%	0.9%
	怪我や病気で大学に行けない期間(10日間以上)	94.4%	5.6%	0.9%	0.9%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.9%
学外(国内)	インターンシップ(数日程度)	39.3%	60.7%	3.7%	3.7%	43.0%	9.3%	10.3%	0.9%	1.9%
	インターンシップ(1週間以上)	78.5%	21.5%	0.9%	0.9%	12.1%	0.9%	4.7%	0.0%	2.8%
	短期間のアルバイト(単発・数日程度)	37.4%	62.6%	26.2%	28.0%	26.2%	25.2%	2.8%	0.9%	6.5%
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	10.3%	89.7%	71.0%	85.0%	80.4%	75.7%	15.0%	15.0%	0.0%
	国内旅行	5.6%	94.4%	75.7%	83.2%	85.0%	82.2%	14.0%	13.1%	0.9%
学外(国外)	ボランティア活動	53.3%	46.7%	17.8%	22.4%	27.1%	15.0%	0.9%	0.9%	3.7%
	海外旅行	53.3%	46.7%	2.8%	8.4%	12.1%	21.5%	2.8%	2.8%	10.3%
	語学研修	91.6%	8.4%	2.8%	1.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%
	留学	89.7%	10.3%	0.0%	2.8%	3.7%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%
	海外でのインターンシップ	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	海外でのアルバイト	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	海外でのボランティア	98.1%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%

✓ 学部生は入学翌年5月のコロナ5類移行まで行動制限の影響を受けながら大学生活をスタートさせました。

■ 大学生活で一番時間を費やした事柄

大学生活で一番時間を費やした事柄／回答者数(人)	107
勉学・研究	38.3%
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	1.9%
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	0.9%
アルバイト	12.1%
社会人活動(収入を得て働く)	0.0%
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	15.9%
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	0.9%
趣味を充実させる	17.8%
余暇を充実させる(遊び)	10.3%
身体を鍛える	0.9%
特に思いつかない	0.9%
他	0.0%

■ 大学生活で時間を費やした事柄総合順位

大学生活で時間を費やした事柄【総合順位】	換算P	順位
勉学・研究	26	2
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	7	5
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	0	11
アルバイト	30	1
社会人活動(収入を得て働く)	0	11
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	15	3
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	2	8
趣味を充実させる	15	3
余暇を充実させる(遊び)	6	6
身体を鍛える	2	8
特に思いつかない	1	10
他	3	7

(もっとも時間を費やした事柄＝3P、2番目＝2P、3番目＝1Pとし総合換算ポイントを算出)

参考資料：大学生協東海地区の暦年の変化<大学時代に経験したこと>

※東海地区内の暦年の結果(単位: %)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
クラブ・サークル加入率	79.6	68.8	73.1	74.0
学会や研究会での発表(オンライン)	32.8	30.2	23.5	19.0
学会や研究会での発表(対面)	39.8	48.0	46.1	49.0
ボランティア活動(国内)	48.0	42.2	47.1	48.0
海外旅行	37.5	47.6	49.3	53.0
語学研修	14.2	15.0	16.1	16.0
留学	14.2	16.2	16.0	16.0

3:大学時代に経験できなかったこと

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】

②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【選択式】

※選択肢:海外留学・語学研修、海外旅行、国内旅行、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、資格取得、インターンシップ、恋愛、人間関係の幅を広げる、その他

③経験できなかった主な要因は何ですか？【質問②その1～その3について最大の要因、第2の要因、第3の要因を質問【選択式】

※選択肢:コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕が無かった、お金に余裕が無かった、「そのうちやろう」と先延ばしにしてしまった、タイミングが合わなかった、このアンケートで「経験したかった」と思い出した、その他

■ 大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はある？



静岡大学の卒業生の **65.2%** がある
と回答しました

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験の内容

経験しておきたかった内容:合計	(延人)	順位
海外留学・語学研修	32	1
海外旅行	20	3
国内旅行	6	9
クラブ・サークル活動	19	4
ボランティア活動	7	8
アルバイト	4	10
資格取得	29	2
インターンシップ	12	6
恋愛	15	5
人間関係の幅を広げる	11	7

■ 経験できなかった要因

経験できなかった要因【総合】		順位
コロナ禍で経験できず	7.7%	6
時間に余裕がなかった	22.6%	1
お金に余裕がなかった	16.0%	4
気持ちに余裕がなかった	19.6%	2
先延ばしにした	17.7%	3
タイミングが合わなかった	10.7%	5
このアンケートで思い出した	4.7%	7

経験その1～その3それぞれ「最大の要因=3P、第2の要因=2P、第3の要因=1P」とし、換算Pを算出。
換算P合計における割合を示している

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験のある先輩からのアドバイス

就職活動、アルバイト、インターンシップ、論文執筆、資格取得、サークル・クラブ活動等、様々な経験を積む事をおすすめします。4年間の大学生活を通じて、私自身がその結果の成否等を問わず、様々な経験から多くの学びを得られた事から、そのように思いました。
(人文社会科学部卒)

インターンシップを通して社会人の方々から言われたのは「学生のうちに遊びまくれ」だった。時間がそれなりにある大学生のうちにやりたいことをやるべき。遊ぶためにはその分お金が必要になることが多いので、勉強をしろそかにしない程度にアルバイトを頑張ろう。
(総合科学技術研究科工学専攻卒)

3年生、4年生になると就活や卒論、実習などで長期休みの予定が埋まりがちです。また、就活中は予定の見通しが立たず、新しいことに挑戦するのは難しいところがあります。在学中にやりたいことがある人は、ぜひ早めに情報を集め、行動を始めるのがおすすめです！
(教育学部卒)

やりたいと思ったことに対して様々な障害があるかもしれませんが、使えるものは総動員して乗り越えたほうが必ず後悔しない人生を送ることができます。
(工学部卒)

時間はありそうで、ないです。先延ばしにするとできなくなってしまったことが大抵できなくなります。思い立ったら吉日で、やろうと思った時には動き出すようにした方がいいと思います。
(総合科学技術研究科理学専攻卒)

海外に留学したいと思っていましたが、お金や時間のことを考えている間に卒業になってしまいました。お金のことは、支援制度や奨学金を活用すれば良かったと今は思います。また学内の説明会など、まずは小さな行動をすべきだったと反省してます。
(総合科学技術研究科農学専攻卒)

4:大学時代のSDGsへの関わり

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

あなたは SDGs における 関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

関心がなく何もしなかった／関心はあったが特に何もしなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

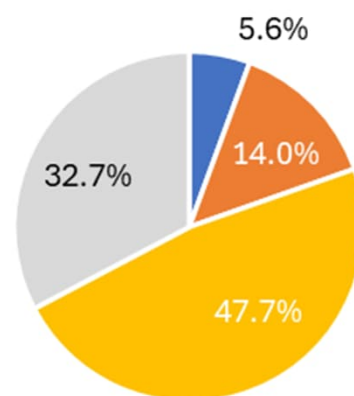
①17のテーマ(複数回答可)

②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)

知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

■SDGsへの関わり

回答者(人)	107		
関心のあるものについて 自分ができる行動を起こした	6	5.6%	
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	15	14.0%	
関心はあったが 特に何もしなかった	51	47.7%	
関心がなく何もしなかった	35	32.7%	



■どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

有効回答者(人)※複数選択	21		
1 貧困をなくそう	0	0.0%	16
2 飢餓をゼロに	7	33.3%	1
3 すべての人に健康と福祉を	3	14.3%	7
4 質の高い教育をみんなに	3	14.3%	7
5 ジェンダー平等を実現しよう	7	33.3%	1
6 安全な水とトイレを世界中に	1	4.8%	14
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	4	19.0%	6
8 働きがいも経済成長も	1	4.8%	14
9 産業や技術革新の基礎をつくろう	0	0.0%	16
10 人や国の不平等をなくそう	2	9.5%	12
11 住み続けられるまちづくりを	5	23.8%	4
12 つくる責任 つかう責任	6	28.6%	3
13 気候変動に具体的な対策を	3	14.3%	7
14 海の豊かさを守ろう	5	23.8%	4
15 陸の豊かさを守ろう	3	14.3%	7
16 平和と公平をすべての人に	3	14.3%	7
17 パートナリシップで目標を達成しよう	2	9.5%	12



<参考資料>

東海地区での暦年の調査結果より

✓ SDGsに対する行動はこの数年で減少傾向といえます。

東海地区暦年の推移(%)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
関心のあるものについて 自分ができる行動を起こした	8.5	10.4	9.6	7.5
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	24.6	24.6	19	16.9
関心はあったが 特に何もしなかった	44.8	38.7	43.7	47.8
関心がなく何もしなかった	22.2	26.2	27.7	27.8

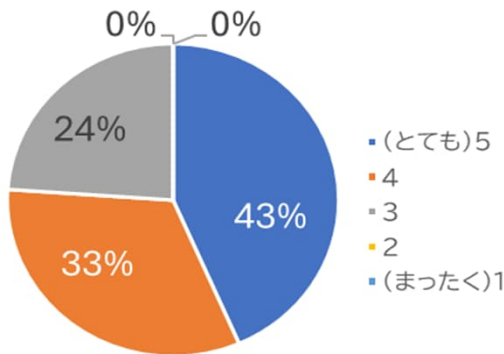
5:大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても～1まったく)
- ②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO
勉学・研究活動／部活・サークル／友人の存在／憧れ・目指す人の存在／推しの存在／恋愛／やりたいことをやった／将来の展望が開けた／自己肯定感があがった／自分にとって価値のある成果を残せた
- ③大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験について具体的に教えてください

■ 大学時代生活はどれくらい充実していましたか？



回答数(人)	
(とても)5	20
4	15
3	11
2	0
(まったく)1	0

■ 以下の事柄については充実していましたか？(YES/NO)

充実度1位

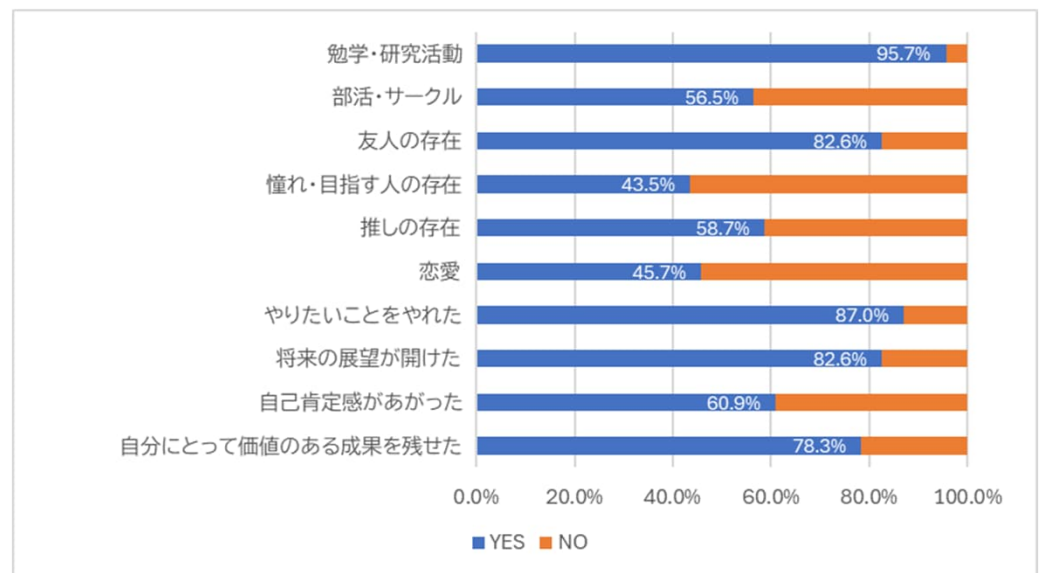
勉学・研究

充実度2位

やりたいことを
やった

充実度3位

友人の存在／
将来の展望



■ 大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験・エピソード。そこで得た教訓。

教育実習で自分の将来について深く考えたこと。私にとって実習は非常につらいものだったが、実習を通して、自分のやりたいことではなく、自分には何が向いているのか、なにができるのかを考えることができた。
(教育学部卒)

友人との関わりをしっかりと持ち保っていくこと。研究やバイト、サークルなどで辛いことや悲しいことがあっても、それ以外で友達を持っておけば、気持ちを切り替える機会ができて、精神を安定させることができると思った。
(総合科学技術研究科 理学専攻卒)

アルバイトやサークル活動などにより、人との関わり方を学ぶことができ、大学入学前よりも社会性や人間関係を構築する力が身についたと思います。アルバイトでは接客やマナー、サークルではチームワークが特に身についたためになりました。
(人文社会科学部卒)

高校までは基本的に親や学校の先生が諸々の手続きをしてくれていたが、大学生になってからはほとんど自分が手続きをした。情報収集能力の差によって自分が有利になることもあるし、不利になることもある。これからは社会人として自分一人で生きていかなければいけないという覚悟を徐々につけることができた。
(理学部卒)

色々な人が社会にはいて、外国人の人も、年齢が違っても様々な人と関わっていく必要があるのだと感じた。一人一人に人生があって、多様な考え方を理解することが必要であると思った。
(農学部卒)

ひとり暮らしの中で、料理も洗濯も何の不平も言わずにやってのける親の凄さを実感した。優しさによって今の自分が成り立っているように感じ、今度は自分が誰かにその優しさを与えられるようになりたいと思った。
(理学部卒)

6:大学生活を一言で表すと！？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活を「ひとこと」で表してください
②「ひとこと」で表した背景を教えてください

自由	高校までとは違い、多くのことが自由になった。しかし、その自由には常に自己責任がつきまとい、自分で考えながら行動をしなければならなかったから。(工学部卒)
社会的モラトリアム	高校までは勉強漬け、社会人からは仕事漬け、その中間にある大学生活でなんとか単位を取りながらダラダラ過ごすこともできる一方、資格を取ったり、たくさん友達を作って飲み場を経験したりなど有意義な時間を過ごすこともできる。(理学部卒)
乱	色んな挫折や今まで正しいと思っていたことが違ったことや、正義が全てではないことを知る体験が多く、自分を守りながら、守られていることを感じ、守られるように振る舞うことで居場所が作られていった。(教育学部卒)
密	「三密」が禁止されていたコロナ禍があげ、人との距離もより近くなり、「密」な人間関係を築くことができたから。大学生になり活動範囲も広がったことで、濃「蜜」な4年を過ごすことができた。(地域創造学環卒)
各々の自由の集大成	大学生は社会人に比べ、勉強の時間以外は多くの自由な時間が与えられ、その分どう過ごすか自分自身で決めることができます。その間に目一杯さまざまなことを経験するチャンスが与えられていますが、ここでどれくらい大学生活を楽しめたか、有意義な時間を使えたかは人によって違ってくると思います。4年間は自分にとって思っていたより長かった気がします。(人文社会科学部)
広がる	主に地元主体だった高校よりも地域が“広がる”。学ぶ内容も深くなり今まで一括りだったものも様々な科目に“広がる”。教養科目では全く触れたことのない知識に出会えて視野が“広がる”。そんな大学生活だったと思う。(工学部)
「自立」そして「自律」	高校と違い、自分を管理してくれる人はいないので、自分を律することの大切さをとても感じる。そして自分を律することで、社会人として自立するための基礎を身につけられたと感じる。(情報学部)
精神力	アルバイトと研究室、サークルの両立と非常に忙しかった。また、色々な環境で様々な人と出会い、意見のぶつかり合いや考え方の違いを体感した。これらから、精神力が養われたと感じているから。(農学部)
怠惰	一人暮らしをしていたため良くも悪くも自由度が高く、大学生活を通してどれだけ自分を律することができるかによって大学生活の充実度が変わると思います。私は気を抜くとすぐ楽な方へ流れてしまうため、大学生活は怠惰との戦いでした。(人文社会科学部)

7: 大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

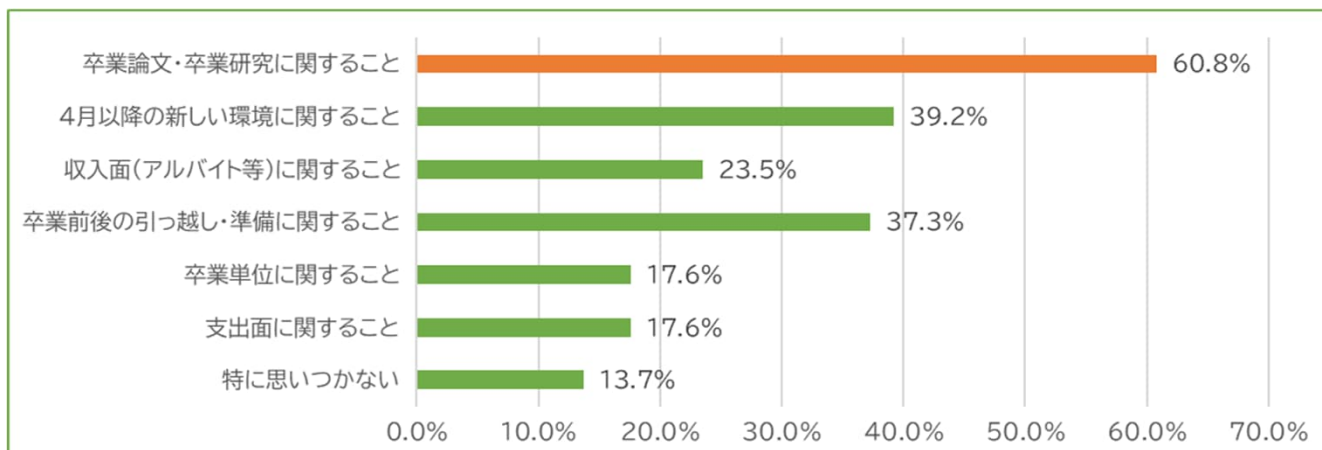
【質問内容】

①昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦労したこと(していること)はありますか？(複数選択可)
卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやっていけるか、など)／特に思いつかない

②上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦労したこと(していること)を教えてください。

③「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

■ 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦労したこと(複数回答)



■ 卒業論文・卒業研究に関する具体的な困り事と「こうすればよかった」

エピソード	こうすればよかった！
卒業論文に苦しんだ。卒業研究が1月まであり、そこからデータまとめたり、先生と相談したりとても時間がかかった。そのせいもあるが、バイトがあまりできずに、お金が尽きてしまった。	早くから、卒業論文を書き始めるべきだった。また、無駄遣いをせずに、貯金をして、バイトができなくなってもなんとかするくらいに貯金しておきたかった。 (農学部卒)
期限内に卒業論文を執筆・提出することができるか。忙しい中アルバイトと両立することはできるのか。	卒論のペース配分のアドバイスや、担当教員によってどのように添削や推敲が行われるか知りたかった。 (農学部卒)
卒論は分析のやり直しとかを提出直前までやったので大変でした。支出面と収入面と引っ越しに関する事は、初期費用や家具を揃えるのにすごくお金がかかるという点で悩みました。	引っ越しの際に何をすればいいかや、初期費用の相場などを早めに調べておけばよかった。 (地域創造学環卒)
卒業論文でうまくテーマが決まらず決まってからも時間が足りず苦労した	もっと早めにテーマを決められれば良かった (人文社会科学部卒)
卒論で題目届が必要なのを知らず、大変だったので、4月に一回連絡するだけでなく、後期が始まる9月、10月に連絡してほしかった。	三年生の頃からあるインターンについて、知ったのが四年生の頃で手遅れだったので、そこら辺を周知したほうがいいのかもしれない。 (人文社会科学部卒)
初めての論文執筆で苦労した。	もう少し早めに実験を進めて余裕をもって卒論を書けばよかった。 (理学部卒)
卒論を書き上げること	もっと真剣に卒論に取り組めばよかった (情報学部卒)

8:卒業前後の不安や困り事＜学生の声＞

＜第3回卒業生アンケート結果＞

■ お金に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
就職や引越してどのくらいお金がかかるのか分からなかった	引越し費用がどのくらいかかるかを知っておきたかった(人文社会科学部)
引っ越し代を捻出するためにバイトもしたいがもうすぐバイトも辞めてしまうからとシフトも減ってしまい追加でほかの単発バイトをすることになった	余裕を持って貯蓄をするべきだった(教育学部卒)
修士論文が終わるか、そのためにバイトを減らさなければならぬが、生活費を賄えるのか	バイトを事前に調整して、お金を貯めておく(人文社会科学研究科卒)
引越しに際してまとまった資金が必要となることに対する不安。	引越しのピーク時期についてより調べておけばよかった(人文社会科学部卒)
引越しに関する費用が高かった。	引越しやお部屋探しに関してはタイミングは早めが必須です。できるだけ早めに決めておくのと安く良い物件に引越しできそうです(工学部)

■ 社会人生活準備に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
引っ越し業者に頼んだ方が良いのか、それとも自力でやるべきなのかぎりぎりまで迷った。	卒業1年前から荷物を少しずつ減らしておくべき。売ったり、捨てたりして(総合科学技術研究科卒)
進学先の研究室での活動に期待がある一方で新しい環境での不安もある。	新環境に関しては不安が少しでもあれば積極的に質問するようにするとよさそうです。(工学部卒)
就職後の生活について不安は付きまとう。繋がりのある先輩は1つ上までのため経験値が足りず相談ができない。適した道を歩んでいけているかわからないまま卒業してしまう不安は付き纏っていた。	さまざまな環境にある人と関係を持つ必要があったと思う(理学部卒)
修士論文を書いていたらいつの間にか3月になっており、3月末の引越しのために業者を探しましたが、かなり高い見積もりを出され、家族に頼りました。修士論文を書き終わった後に自動車学校に通い始めたので、本当に時間がありませんでした。	引越し前後はやることが多いのと、自分の送別会で忙しいので、とにかく早く行動しておけばよかったなと思いました。(総合科学技術研究科卒)
業者を使った引越しは初めてだったので、どのような流れで作業を進めていくべきかわからなかった。	早めに準備(総合科学技術研究科卒)
まずは卒業できるか、そして就職に向けて準備がしっかりとできるか	家電の整理をしておきたかった(総合科学技術研究科卒)
就職先がこれでよかったのかどうか	(情報学部卒)

大学生協を活用してスムーズな卒業準備を

■ 一人暮らしに関する情報

[大学生協の引越しプラン](#)／[退居準備お役立ち動画集](#)
[新社会人向けお部屋探し](#)

■ 社会人になる前に押さえておきたいお金に関する知識

[身近なお金のセミナー](#)



静岡大生協HP＞卒業予定の方にも情報を掲載していますのでご覧ください。

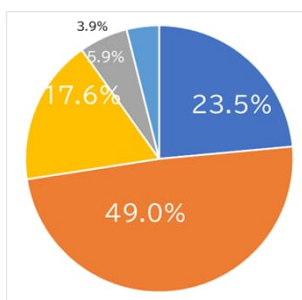
9:卒業生が見た大学生協

<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5とても満足～1とても不満)

回答者(人)		51	
(とても満足)5		12	23.5%
4		25	49.0%
3		9	17.6%
2		3	5.9%
(とても不満)1		2	3.9%



静岡大学の卒業生における
生協満足度は
2025年度

3.82
でした

【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？
知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

回答数(人)	51	
知っていた	2	3.9%
なんとなく知っていた	12	23.5%
今、初めて知った	37	72.5%



1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生生活の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があって良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

- ・テーマのある旅で、教育で有名なフィンランドに実際に行き、最新の教育について見て学ぶことができた。
- ・パソコンが壊れたが生協の保険で安く購入できた。
- ・特に食事面がありがたく、卒論がピークの時期においては学食の夕飯営業にとってもお世話になった。
- ・大学内に食べ物が売っていることが嬉しい。また、手作りパンや限定クレープの販売もワクワクした。コーヒーが意外と本格的で豆から引くタイプのコーヒーメーカーで美味しかった。
- ・北海道旅行に生協の学生割引によって格安で行けたこと。生協の公務員講座を受講でき、就活終了後も受講生サポーターとして活動できたこと。
- ・美味しい学食が毎日食べられた、文房具や書籍など欲しいものが少し安く購入できた。
- ・生協で学割でのiPad購入を検討していたら、AppleがiPadを値上げした。これにより、iPadは諦めようと思ったが、生協のiPadはまだ値上がりをしていなかったため、購入することに踏み出せた。買ったことに全くの後悔がないので、本当にありがたかった。
- ・毎食自分で作るとどうしても栄養が偏ってしまうため、生協が運営する食堂で栄養のある昼ごはんを食べられてよかった。
- ・生協開催の自転車点検を無料ででき、タイヤの空気や油さしをしてもらえて助かった
- ・生協開催のPC講座で、PCの使い方やレポートの書き方、プレゼンの仕方を学ぶことができた。
- ・生協PCと保険をセットで購入していたため、PCに不具合が起きたときや壊してしまった際、無料で修理してもらえられた。また修理期間の間、代替PCを貸してもらえたため、レポートの提出や卒論執筆もでき、タスクが滞らずに済んだ。
- ・学食にとってもお世話になりました。毎日自分で昼食を用意するのは大変なので、行けばあたたかいご飯を食べられてありがたかったです。
- ・鍵を家の中に閉じ込めてしまった時に生協のサービスを通じて休日でもすぐに業者に来てもらえた。
- ・居住していたアパートが生協管理物件で、度々家の事でお世話になりました。また公務員講座を受講しており進路決定の際に大変お世話になりました。
- ・自動車学校の申し込みや卒業式のレンタル袴の予約、卒論の製本がスムーズにできたこと。
- ・食堂パスで毎日の昼食に困らなかったのは本当に助かりました。
- ・売店があったおかげで、緊急で文房具が必要になったりしたときすぐ買いに行けたので助かった。公務員講座を受けることができてよかった。

先輩から後輩へのアドバイス

頼るべきはChatGPTではなく、確かな経験を積んできた先輩ですよ。

(総合科学技術研究科 農学専攻卒)

やらない後悔よりもやる後悔という言葉があると思いますが、まさにその通りだと思います。大学生活でやってみようと思って挑戦したことはほとんどやって良かったと思うことばかりでした。逆に結局行動に移さなかったことに関しては多くは後悔として残ってしまいました。ぜひ最後にやりきったと思えるような後悔のない大学生活を送ってください。

(人文社会科学部卒)

大学は高校と違って、「自由」です。「自由」ゆえに、「何をするか」「何を頑張るか」も自分で決めます。そのことを忘れないようにして大学生活を楽しんでください。

(情報学部卒)

ガムシャラに行動するのではなく何をしたいか考えて行動したことは失敗成功問わず必ず自分の糧になります。考え続けることをやめないことを意識して欲しいです。

(理学部卒)

僕は受験で失敗して静大工学部に入りましたが、良い先生や同級生に恵まれ充実した大学生活を送ることができました。後期で受かった静大への入学を迷いましたが、入ってみると決してレベルの低い大学ではありませんでした。結局は自分が何をしたいか、何をするかです。

(工学部卒)

大学生活はすぐに過ぎてしまうから、楽しめる時に楽しむ、苦しむ時に苦しむ、大学生活を有意義な時間にして欲しい。

(農学部卒)

大学生活は本当にあっという間だったので、一時一時を大切にしたいです！

(人文社会科学部卒)

6年間色々なことがありましたが、すべて乗り越えてこれました！何事も100%で頑張ってください！

(総合科学技術研究科 工学専攻卒)

大学生になれば楽しい生活が待ってると思ったら間違いで、自分から動いてコミュニティに属しないと深い交友関係は築きにくくて大学生活が充実しないので、いつからでも遅くないからサークルとか部活、バイトをちゃんとやるべきだと思います！

(教育学部卒)

困難に直面しても、打開策を探してあがき続けてください。望む結果が得られるとは限りませんが、「諦めずに前へと進む」姿勢があればそれで十分だと思います。どうか生き続けてください。自分もなんとか生き延びます。

(人文社会科学部卒)

大学生活をより良いものにするために必要なものは人との良い繋がりである、と4年間振り返って思います。自分を良い方に引っ張ってしてくれる同級生や先輩を大切に。

(教育学部卒)

大学生活は思っているより短いです。特に1年生は疲れると思いますが一日一日を大切に楽しく過ごしてほしいです。

(教育学部卒)

留年は最悪、最低限の勉強は怠らないように(理学部卒)

やりたい！と思ったらとりあえず行動すること。(農学部卒)

家族へのメッセージ

いつも私が挑戦することに、背中を押してくれてありがとう！これからはたくさん恩返しできるように、頑張ります！お父さんやお母さんのような人になるのが目標です！
(総合科学技術研究科 農学専攻卒)

離れて暮らすのは寂くてホームシックになったりもしたけど、4年でこんなに成長したよ！今まで受けた恩を返していけように、新社会人として頑張っていきます。
(地域創造学環卒)

大学に通わせてくれて、いつも応援してくれてありがとう。本当に感謝しています。今後は社会人として自分の役割を果たし、家族孝行もしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。(人文社会科学部卒)

6年間も不自由なく一人暮らしさせてくれて本当に感謝しかないです。おかげで、将来やりたいことを見つけることができました。留学に行けたことも大きな分岐点でした。ありがとうございました。(総合科学技術研究科 工学専攻卒)

お父さん、お母さん、お兄ちゃん、今まで23年間私を育ててくれてありがとうございました。4月から私もやっと社会人です。真面目で頑固で心配性な私でしたが、大学に入ってから、かなり鈍感でテキトーな人間になったと思います笑。抜けてることも多く、みんなには心配をかけたと思いますが、なんとか六年間の大学生活が終わりそうです。みんなのおかげで私は心身ともに健康で自己肯定感高めの人になれたと思います。これから私は社会人として生きていきますが、変わらずに私の人生を見守っていただくと嬉しいです。今後ともよろしくお願いします。
(総合科学技術研究科 理学専攻卒)

4年間、学費や一人暮らしの家賃などを支払ってくれて本当にありがとう。社会人不安ですが頑張ります。
(人文社会科学部卒)

私をここまで育ててくれてありがとう。これからは社会人としての勤めを果たすと同時に恩返しをしていきたいです。(人文社会科学部卒)

大学まで進学させてくれてありがとう
(工学部卒)

入学する前の自分へのメッセージ

自分から行動することが苦手かもしれないけど、大学は自分で動かないと何も起こらないから勇気をだして行動したほうがいいよ。
(総合科学技術研究科 工学専攻卒)

なんやかんやでいい大学生活は送れたので安心するように。かつ、趣味のうち1つの大きな目標は達成できる。色々な出会いもあり、だいぶ変化は大きかったかもしれない。
(理学部卒)

学前は自分よりすごい人が沢山いるんだろうな、自分なんてあんまりいいところないしとか思っていたけど、周りの人達のすごいところと自分のすごいところは同じじゃないから比べる必要はないよ。もちろん周りの人もすごいけど、自分も同じくらいすごい。(地域創造学環卒)

大学生活意外となんとかなったし楽しかった。寮食はおいしいよ。教育実習が早起き続きできついが頑張れ。ヒトカラは行けるだけ行っときな。4年間で3回くらい寝坊したけど授業飛ばしたくらいで大きな被害はなかったから大丈夫。頑張るすぎない等身大でいいよ。これからも頑張りたいから。(教育学部卒)

コロナで大学生活どうなるか不安だったよね、でも大丈夫！めっちゃ楽しかったよ！いい友達もできて、研究にもちゃんと取り組めた最高の大学生活でした！
(総合科学技術研究科 農学専攻卒)

大学1年はコロナで授業もオンラインが多いけど、気になったことややりたいことは諦めずに早めに行動に移して！
(人文社会科学部卒)

時間の余裕をもっとさまざまなことにあてて有意義に過ごして欲しい
(工学部卒)

英語はずっとやったほうがいい
(工学部卒)